

平成30年度 公益財団法人大分県体育協会第1回理事会

日 時：平成30年5月14日（月）15：00～

会 場：大分県医師会館 6階研修室I

理 事

出席者 広瀬 勝貞 工藤 利明 麻生 益直 上野 浩光 井上 倫明
(24名) 安部 省祐 安部 亮 大場 俊二 牧 和志 松本 悠輝
 蓑田 智通 三好 正昭 穴井 俊一 阿部 昭一 今富 寛二
 衛藤 賢 榎 英樹 佐藤 彰倫 白水 厚二 花木 敏寿
 樋口 紅史 廣瀬 宏一 山崎 隆典 渡邊 美穂

欠席者 相馬 尊重 工藤 啓記 詫摩 英明 土谷 忠昭 桑野桂一郎
(6名) 小幡 龍也

監 事

出席者 鍵矢 栄典 工藤 哲郎 矢部 正秋
(3名)

参 与

欠席者 津田 元英
(1名)

資格確認 伊藤総務部長が出席者理事24名で、定数の過半数であることから、本会定款第36条により、本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

伊藤総務部長が開会のことばを述べた。

2 挨拶

公益財団法人大分県体育協会会長 広瀬 勝貞大分県知事があいさつを行った。

皆様こんにちは。いつも大変お世話になっております。今日はまた大変お暑い中お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。皆様には大分県内における、スポーツの振興そしてまた競技力の向上等々に努力をしていただいているところでございます。スポーツ振興につきましては、スポーツ少年団の拡充につきまして、特段にお世話になっております。また、スポーツ振興という面、もう一つは総合型地域スポーツクラブの振興ということでございまして、これにつきましても皆様方のご尽力に心から敬意を表したいと思っております。

おかげさまで随分総合型地域スポーツクラブも普及してきたと思っております。

もう一つの課題、競技力の向上でありますけれどもこれは問題でございまして、1年前我々は国体に

において、38位という屈辱をなめた訳であります。本当に上を向いて歩けないという恥ずかしい思いをしたわけでございます。

それから、各団体におきまして、大変に反省・努力をしていただきましたが、この屈辱は1年では戻らないということで、去年はせめて20位台の上位ということでありますから、去年の愛媛国体は25位を確保することができたということでございます。

屈辱はまだ続いております。今年はなんとしても元の10位台を確保するということで努力したいと思っております。皆様方の特段のご尽力を心から祈念を申し上げる次第であります。

今日はその他に色々決めなければならないことが多いですので、ぜひご協力を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

3 出席者の紹介

佐保事務局長が出席者の名前を読み上げ、紹介を行った。

【役員・体育保健課職員・体協職員の紹介】

それでは、本年度最初の理事会でございますので、本日御出席の役員及び体育保健課職員の皆様方を御紹介させていただきます。

まず、代表理事でございます。

正面中央、本会会長、広瀬勝貞（ひろせ かつさだ）大分県知事でございます。

会長の左隣、副会長、麻生益直（あそう ますなお）八鹿酒造株式会社代表取締役社長でございます。

その左隣、副会長、上野浩光（うえの ひろみつ）新日鐵住金株式会社大分製鐵所常務執行役員所長でございます。

会長の右隣、副会長、工藤利明（くどう としあき）大分県教育委員会教育長でございます。

その右隣、専務理事、井上倫明（いのうえ みちあき）大分県教育庁体育保健課長でございます。

次に、常務理事でございます。

安部省祐（あべ せいゆう）一般社団法人大分県バスケットボール協会会長でございます。

安部 亮（あべ りょう）大分合同新聞社運動部長でございます。

大場俊二（おおば しゅんじ）一般社団法人大分県サッカー協会副会長でございます。

牧 和志（まき かずし）大分県スポーツ少年団本部長でございます。

松本悠輝（まつもと ゆうき）松本内科循環器科クリニック院長でございます。

蓑田智通（みのだ ともみち）大分県高等学校体育連盟会長でございます。

次に理事でございます。

穴井俊一（あない しゅんいち）大分県少林寺拳法連盟副理事長でございます。

阿部昭一（あべ しょういち）一般財団法人 大分県剣道連盟副会長兼専務理事でございます。

今富寛二（いまとみ かんじ）中津市体育協会事務局長でございます。

衛藤 賢（えとう まさる）大分県軟式野球連盟副理事長でございます。

榎 英樹（えのき ひでき）佐伯市体育協会事務局長でございます。

佐藤彰倫（さとう あきのり）大分県フェンシング協会理事長でございます。
白水厚二（しろみず こうじ）大分県ソフトテニス連盟理事長でございます。
花木敏寿（はなき としかず）別府市体育協会理事長でございます。
樋口紅史（ひぐち こうじ）日田市体育協会会長でございます。
廣瀬宏一（ひろせ こういち）豊後大野市体育協会理事長でございます。
三好正昭（みよし まさあき）大分市体育協会理事長でございます。
山崎隆典（やまさき たかのり）大分県ホッケー協会理事長でございます。
渡邊美穂（わたなべ みほ）大分県なぎなた連盟常任理事でございます。

次に、監事でございます。

鍵矢栄典（かぎや よしおき）大分県ソフトボール協会常務理事でございます。
工藤哲郎（くどう てつろう）竹田市体育協会事務局長でございます。
矢部正秋（やべ まさあき）税理士法人プロパートナー税理士でございます。

以上で、紹介を終わります。

3 議長選出

理事会規定第6条では、「理事会の議長は会長がこれにあたる」とありますので、広瀬会長に議長をお願い致します。

また、議事録署名につきましては、定款第37条に出席した会長・副会長及び幹事は議事録に記名押印するとなっておりますので、その旨よろしくお願いいたします。

以降は、広瀬議長による進行。

4 報告事項

- (1) 平成30年度役員及び各専門委員会委員の変更について
- (2) 平成30年度事業報告について
- (3) 各種大会成績について
- (4) 第73回国民体育大会に向けた競技力向上対策について

以下、佐保局長の説明

それでは、(1)平成30年度役員の変更について説明いたします。

レジュメの2ページ、3ページを御覧ください。

役員の任期につきましては、2年となっており、昨年度が改選期でございましたので、本年度は任期2年目となります。今回は、人事異動等によりまして、5名の役員の方々が辞任されました。これに伴い、役員の変更がありましたので報告いたします。

役員の選任につきましては、規程に従い、役員等推薦委員会において役員候補者を選出し、本日午前中に開催されました臨時評議員会において選任されました。表の右に☆印が付いている方々が、本年度役員に選任された方々でございます。御紹介申し上げます。

理事5名でございます。

榎 英樹（えのき ひでき）佐伯市体育協会事務局長

工藤啓記（くどう ひろのり）大分県中学校体育連盟会長

相馬尊重（そうま たかしげ）由布市長

花木敏寿（はなき としかず）別府市体育協会理事長

三好正昭（みよし まさあき）大分市体育協会理事長

以上、5名の方々が本年度役員に選任されましたので報告いたします。

なお、副会長、常務理事の欄に空欄がございますが、代表理事、業務執行理事の選定につきましては、後ほど御審議いただくこととしております。

次に、レジュメの4ページをお開きください。本会には、専門委員会として、財務委員会、競技力向上委員会、スポーツ医科学委員会、スポーツ少年団があり、役員同様本年度は改選期ではございませんが、人事異動等によりまして、委員の変更がありました。

4ページが平成30年度の財務委員会、また、5ページが競技力向上委員会の名簿でございます。それぞれ表の右側に☆印のついている方々が新しい委員でございます。御確認をお願いいたします。

なお、スポーツ医科学委員会につきましては、委員の変更はありませんでした。

また、スポーツ少年団につきましては、後ほどの議事の中で御説明させていただきます。

続きまして、（2）平成30年度事業報告について御説明いたします。

レジュメ6ページをお開きください。本年度に入りましてからの会議や行事などがございます。主な所のみ抜粋して御説明させていただきます。

No.4、4月11日に、本会加盟競技団体事務局長会議を開催いたしました。本年度の運営方針、国民体育大会に係る強化費等補助金の事務手続き等について説明させていただきました。

7ページのNo.8、4月19日に強化指定委嘱状交付式を開催し、強化指定173団体、個人31名、大分県競技力向上スーパーコーチ6名に対して、広瀬会長が委嘱状を交付いたしました。由布高校ライフル射撃部監督の野畑先生の力強い決意表明、大分県高体連蓑田会長の頑張ろう三唱により、福井国体での「天皇杯順位10位台」に向けて気持ちを一つにすることが出来ました。

また、同日の午後は、強化指定校・団体の指導者を対象とした拠点指導者研修会を開催しました。朝日大学の白石豊先生に「本番に強くなる」と題して講演をしていただき、指導者の資質向上を図ることができました。

No.9ですが、強化指定委嘱状交付式翌日から強化指定校の激励訪問を実施し、学校長、監督、選手を激励させていただきました。なお、激励訪問につきましては、明日15日終了予定となっております。

No.11です。4月25日に評議員選定委員会を開催し、評議員の変更を承認させていただきました。

No.13、5月1日付けの書面決議によって、役員等推薦委員会を開催し、理事の変更について評議員会への付議を承認させていただきました。

No.15、5月8日に大分県スポーツ少年団委員総会を開催し、平成29年度事業報告及び決算や、副本部長の変更などについて審議いたしました。

平成30年度事業報告は以上でございます。

続きまして、（3）各種大会成績について説明いたします。8ページをお開きください。本年3月18日から5月8日までの成績です。中学生は全国大会ベスト8以上、社会人・高校生は九州大会ベスト4以上・全国大会ベスト8以上を掲載しています。本日は、優勝した選手・チームについて紹介いたし

ます。

8ページ、水泳競技、第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳大会、男子14、15歳1m飛び板飛び込みにおきまして、大分ダイビングクラブの山本馨（やまもと けい）選手が、男子15、16歳200m及び50m自由形でXYZ別府の田中大寛（たなか たいかん）選手が優勝いたしました。

セーリング競技、第29回全九州高等学校選抜ヨット選手権大会、女子FJ級におきまして、別府翔青高校Aが優勝いたしました。

9ページ、ハンドボール競技、第41回全国高等学校ハンドボール選抜大会におきまして、大分高校女子が創部7年目にして初優勝いたしました。

自転車競技、第21回西日本地区自転車競技大会、男子4000メートル団体追い抜きにおきまして、大分県選抜が、男子スプリントにおいて、大分県選抜の甲斐俊祐（かい しゅんすけ）選手が、10ページ、男子ケイリンにおきまして、大分県選抜の黒枝咲哉（くろえだ さや）選手が、男子総合におきまして大分県選抜が優勝いたしました。

フェンシング競技、2018世界ジュニア・カデ選手権女子フルーレ及び女子カデ・フルーレにおきまして、本県出身の上野優佳（うえの ゆうか）選手が優勝、世界の頂点に立ちました。

11ページ、ライフル射撃競技、全九州ライフル射撃選手権大会、一般エアライフル立射60発におきまして、九州乳業株式会社の三浦哲（みうら さとる）選手が、少年男子ビームライフル立射60発におきまして、由布高校の生嶋貫司（しょうじま かんじ）選手が、少年女子エアライフル立射60発におきまして、由布高校の西山彩佳（にしやま あやか）選手が、少年女子ビームライフル立射60発におきまして由布高校の中村実佑（なかむら みゆう）選手が優勝いたしました。

カヌー競技、2018カヌースプリントジュニア海外派遣選手選考会兼第28回府中湖カヌーレガッタ、女子500mカヤックペアにおきまして、大分豊府高校の赤石遥（あかいし はるか）、原千遥（はら ちはる）ペアが優勝いたしました。

その他の成績につきましては、後刻御確認いただきたいと思います。各種大会の成績につきましては以上でございます。

次に報告事項（4）第73回国民体育大会に向けた競技力向上対策について御説明いたします。13ページを御覧ください。

こちらは、本年1月の平成29年度第3回の理事会で御説明した資料でございます。昨年の愛媛国体に向けては、ヒアリングや指標大会ごとに検証と見直しを行いながら強化に取り組み、天皇杯順位第25位という結果となりました。

愛媛国体後、チーム大分の現状を分析し、上段真ん中にありますとおり、福井国体に向けての強化戦略を立てたところです。

戦略の1つ目は、得点獲得モデルのキーワードを「20・10・5」とし、得点獲得競技数が最低20競技以上、その20競技中10競技が30点を、更にその10競技中の5競技が50点の獲得を目指すものです。

2つ目は、バレーボール・ホッケー・ハンドボール・ラグビー・ソフトボール・サッカー・バスケットボールのチーム競技8競技で合計100点以上の得点を目指すものです。

そして3つ目は、目標を達成するためのPDCAサイクルを徹底するものです。これにつきましては、昨年から行っており、成果を上げてきていますので、PDCAにより分析された各競技毎の課題に応じ

た強化策を早期に実施していきたいと考えております。

これらの戦略を競技団体と共有し、各競技の現状分析、課題整理、今後の対策などを協議するため、県競技力向上対策本部と合同で、昨年11月に第2回のヒアリングを実施しました。

その中で、少年種別においては、全国選抜やインターハイに向け単独チームとして高めた個々の競技力を選抜チームで最大限に発揮するための「選抜力の強化」、成年種別においては、団体競技の強化の中で即効性のある強化策として「ふるさと選手の獲得」等について協議し、取組を進めてまいりました。

また、各協議団体・学校においては、冬から春にかけて、県外遠征や、優秀チームを招聘しての練習試合、強化合宿等を積極的に実施するなど、チーム大分の競技力向上に努めていただきました。

14ページをご覧ください。全国高校選抜大会、九州高等学校新人大会及び選抜大会の平成28年と29年を比較したものです。

上段、全国選抜大会を見ると、全体としては3つ減となっておりますが、その要因は個人入賞の減によるものであります。一方、団体においては、入賞数が7から8に、そのうち上位入賞数については2から5に増加しています。昨年のインターハイは、一昨年と同等の良い成績でしたので、その学年の全国選抜の成績が遜色ないということは拠点のチーム力は昨年と変わっていないと判断できます。つまり、福井国体に向けて十分チャレンジできるということです。

下段、九州大会を見ると、団体・個人ともに前年度を上回っております。また、2位までの上位入賞数を見ても団体が2、個人が3、全体で5つ増加しています。昨年度以上のチーム状況にあることが伺えます。

これらのことから昨年度並みの力はあると考えているところですが、一番大切なのはこれからです。

早速、今週木曜日の17日から、競技団体へのヒアリングを実施いたします。その中で、戦力分析や強化の進捗状況の確認等を行い、強化策の見直し等を行いながら一層の競技力向上に取り組んでまいります。

以上で報告事項の説明を終わります。

《質疑応答なし》

4 議事

以下の議事について、佐保事務局長より説明された。

議案1 平成30年度代表理事・業務執行理事の選定について

議案2 平成30年度大分県スポーツ少年団副本部長について

議案3 平成29年度事業報告（案）について

議案4 平成29年度収支決算（案）について

【議案1 平成30年度代表理事・業務執行理事の選定について】

それでは、議案1の平成30年度代表理事・業務執行理事の選定について、説明いたします。

レジュメの2・3ページをお開きください。

先ほど説明いたしました役員の変更の中で、辞任された5名のうち、1名は副会長である代表理事、2名は常務理事である業務執行理事でございました。本会定款第25条の2項には、「会長、副会長、専務

理事及び常務理事は、理事会の決議によって、理事の中から選定する」とございますことから、本日は、新理事の中から副会長1名の代表理事と、常務理事2名の業務執行理事の選定をお諮りするものです。御審議の程、よろしくお願いいたします。

(事務局案配付)

それでは、事務局案を御説明いたします。案の名簿の読み上げをもちまして、提案とさせていただきます。

副会長 相馬尊重(そうま たかしげ) 由布市長

常務理事 工藤啓記(くどう ひろのり) 大分県中学校体育連盟会長

常務理事 三好正昭(みよし まさあき) 大分市体育協会理事長

以上、副会長1名、常務理事2名を御提案いたします。御審議をお願いいたします。

《事務局案提案に異議なしとの声が挙がった》

【議案2 平成30年度大分県スポーツ少年団副本部長について】

15ページを御覧ください。

最初に一つ修正をお願いいたします。中段上に網掛けで示しております、三好正昭(みよし まさあき)氏でございますが、只今議案1で御承認をいただきましたので、区分のところがございます県体協理事を県体協常務理事に改めさせていただきます。

それでは、議案2の大分県スポーツ少年団副本部長について説明いたします。

先ほど、報告事項(1)で本会の専門委員会委員の人事異動等による変更について御説明しましたが、スポーツ少年団の変更につきましては、表の右側に☆印のついている方々が新しい委員でございます。御確認をお願いいたします。

その中で、規程では、大分県スポーツ少年団の副本部長については、その選任について、「副本部長は、委員総会でこれを推挙し、本会理事会の承認を得て本会会長が委嘱する」となっております。

5月8日に大分県スポーツ少年団委員総会を開催し、新たな副本部長の理事会への推挙が決定されました。中段上に網掛けで示しております、県体育協会常務理事 三好正昭(みよし まさあき)大分市企画部スポーツ振興課長を御提案いたします。

御審議をお願いいたします。

《質疑応答無し。全会一致で承認された。》

【議案3 平成29年度事業報告について】

それでは、議案3の平成29年度事業報告につきまして御説明いたします。レジュメの16ページをご覧ください。報告につきましては、内容が多いため抜粋して報告させていただきます。

まず、16ページの上段、理事会・評議員会でございます。29年度は、定款等に定められています評議員選定委員会、役員等推薦委員会、臨時及び定時評議員会、理時及び定例の理事会等を資料記載の日程により開催し、本会の役員の変更や運営に関わる事項を御審議いただきました。

16ページ下段から17ページにかけては、九州ブロック大会及び国民体育大会関係でございます。

第37回九州ブロック大会夏季大会、秋季大会は長崎県を主会場に開催されました。本県選手団は夏季・秋季大会に33競技92種別に出場し、51の代表権を獲得いたしました。

第72回国民体育大会本大会は愛媛県で開催され、大会には、監督選手403名が出場いたしました。結果は天皇杯順位第25位でございました。

17ページNo30ですが、第72回国民体育大会反省会・工秀秀明スポーツ奨励賞授与式・懇談会を開催いたしまして、チーム大分の一層の結束を図るとともに、第73回国民体育大会での10位台復活を誓い合いました。

18ページからは、専門委員会であります競技向上委員会関係でございます。強化指定委嘱状交付式、激励訪問、競技力向上委員会などを行いました。

18ページ中段から20ページにかけては、スポーツ医科学委員会関係でございます。スポーツ医科学を通じた競技力の向上に向けて、各種事業に取り組みました。

21ページから23ページ中段にかけては、スポーツ少年団関係でございます。資料記載のとおり大変多くの諸会議、研修会、大会等を実施いたしました。スポーツ少年団登録者数については、本県は全国で唯一、3年連続で前年度を上回りました。また登録団数も8年ぶりに増加となっています。

特に、22ページ下段108にあります第26回大分県スポーツ少年団駅伝交流大会は、本県独自で開催している事業であり、昨年度は過去最高となる参加団・チームでありました。このような魅力ある事業をさらに充実させながら、関係機関と連携して今後のスポーツ少年団活動の活性化に繋がる取組を続けたいと考えております。

23ページ下段121にあるその他本会主催会議の中の、加盟競技団体ガバナンス研修会ですが、この研修会は3年前から開始した研修会でございます。競技団体において、社会から信頼される組織運営は、スポーツ振興を図る上での最重要課題でございます。本年度は受講対象者を替えるなど、内容を検討しながら継続して開催したいと考えています。

24ページ上段は、表彰関係事業でございます。御覧のとおり平成29年度も多くの団体、個人を表彰することができました。

24ページ中段は、募金関係事業でございます。役員の方々をはじめ、県民の皆様や企業など、各方面から御協力をいただき、法人会員としまして79(83)件、224(236)万円、個人会員としまして、192(153)件、159万5千円(141万5千円)、合計、271(236)件、383万5千円(377万5千円)の賛助会費をいただきました。これは、これまでで最高の募金額となっています。

事業報告は以上でございます。御審議の程よろしくお願いいたします。

《質疑応答無し。全会一致で承認された。》

【議案4 平成29年度収支決算について】

それでは、議案4の平成29年度収支決算につきまして、御説明いたします。26ページから39ページが決算資料でございますが、かなりの量になりますので、40ページの後ろに綴じております白紙でA3縦の資料により提案させていただきたいと思っております。

説明の前に、本会の会計は大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業の3つからなる公益法人会計と、事務局運営に係る法人会計の合計4つに分かれていることを申し上げます。

表の見方ですが、ローマ数字Ⅰの一般正味財産増減の上段が経常収益、いわゆる収入の部です。下段が経常費用、いわゆる支出の部です。収支の差額が3の当期経常増減額となっています。また、一番下のローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は、本会の財産残高を示しています。

なお、一番右の数字は行数を表しています。

それでは、前年度の決算額に対して増減が大きいものなど、主な項目について説明いたします。

まず、経常収益です。5行目の受取加盟金ですが、決算額は885万4千596円で前年度より203万8千226円の増額となりました。これは、加盟団体分担金の増額によるものでございます。

14行目、国体参加補助費ですが、決算額は8千537万6千643円で前年度より3千298万8千499円の減額となりました。これは、九州ブロック大会及び国民体育大会の開催県の違いにより旅費が大幅に減ったものでございます。

17行目、日本体育協会等補助金ですが、決算額は365万1千800円で前年度より122万7千680円の増額となりました。これは、スポーツ少年団全国大会準備費としてスポーツ少年団組織整備強化費50万円の増額と、スポーツ少年団九州ブロックリーダー研究大会の開催県として開催費45万円の増額によるものでございます。

26行目、日本体育協会受託金ですが、決算額は49万499円で前年度より122万4千344円の減額となりました。これは、29年度に指導員養成講習会の開催がなかったためでございます。

44行目、受取寄付金ですが、決算額は85万9千160円で前年度より32万5千986円の増額となりました。これは、工藤秀明奨励賞の表彰者が多かったことによるものでございます。

47行目、募金収益ですが、決算額は665万2千974円で前年度より90万9千13円の減額となりました。これはゴルフ場利用者からいただいているスポーツ振興協力金の拠出割合の変更によるものでございます。

53行目、経常収益の決算額は2億4千93万9千467円となり、前年度より3千105万9千33円の減収でございました。

次に、経常費用でございます。

まず、55行目の大分県スポーツ振興事業です。決算額1億9千798万8千643円で前年度より3千298万8千499円の減額となりました。これは先ほど説明した経常収益の国体参加補助費と同じ理由によるものですので、減額も同額となっています。

66行目、大分県スポーツ少年団事業の決算額は794万7千110円で前年度より72万4千386円の増額となりました。これも先ほど説明した経常収益のスポーツ少年団九州ブロックリーダー研究大会開催によるものと、スポーツ少年団全国大会準備としての先催県視察によるものでございます。

73行目、大分県スポーツ普及・表彰事業の決算額は482万9千107円で前年度より73万4千627円の減額となりました。これも先ほど説明した経常収益の日本体育協会受託金の指導員養成講習会がなかったためでございます。

79行目、※印の上記3事業の事業管理費ですが、3事業それぞれに割り振っているものをまとめて示しているものでございます。決算額は2千119万2千541円で前年度より72万2千824円の減額となりました。これは、諸経費の節減によるものでございます。

81行目、法人会計の事業費ですが、29年度より郡市体協への交付金を中止したため、49万8千500円の減額となっております。

83行目、経常費用の決算額は2億3千817万4千919円となり、前年度より3千435万2千449円の減額となりました。

次に、当期経常増減額でございますが、各事業ごとの経常増減額を示しています。スポーツ振興事業の当期経常増減額は40万6千2円の黒字、スポーツ少年団事業の当期経常増減額は65万4千545円の黒字、スポーツ普及・表彰事業の当期経常増減額は8万4千26円の黒字、法人会計の当期経常増減額は162万3千575円の黒字、したがって、89行目、全会計を合わせた当期経常増減額は、276万4千548円の黒字でございます。

93行目、ローマ数字Ⅲの正味財産期末残高は3千685万4千725円でございます。

以上が、平成29年度決算につきましての説明でございます。御審議よろしくお願いいたします。

(続いて、矢部正秋監事から監査報告がなされた。以下、報告内容。)

それでは、監査報告をさせていただきます。

私たち幹事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果についてご報告させていただきます。

まず、監査の方法及びその内容でございますが、お手元の資料の40ページにつけております監査報告書に詳細に記載させていただいておりますので、お読み取り頂きたいと思っております。

続いて2番目の監査意見でございますが、事業報告等の監査結果でございます。事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為又は、法令若しくは、定款に違反する重大な事実は認められません。

2番目といたしまして、計算書類及びその付附属明細書並びに財産目録の監査結果でございますが、これらの書類につきましては、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成30年5月7日 公益財団法人大分県体育協会
監事 鍵矢 栄典 同 工藤 哲郎 矢部 正秋

以上でございます。

《質疑応答無し。全会一致で承認された。》

7 その他

- (1) 第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会の日程・会場地について
- (2) 第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会「福井国体」に係る調査について
- (3) 第71回大分県民体育大会の日程・会場について
- (4) 第66回大分県高等学校総合体育大会の日程・会場について
- (5) 第56回大分県中学校総合体育大会の日程・会場について
- (6) 加盟団体主催イベントに係る賠償責任保険について
- (7) 平成30年度賛助会員募集について

【(1) 第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会の日程・会場地について】

それでは御説明いたします。まず、(1)の第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会の日程・会場地についてですが、別冊A4縦版の資料1ページから3ページが鹿児島県で開催されます第38回九

州ブロック大会の日程及び会場一覧です。4ページ、5ページは第73回国民体育大会「福井国体」の大会日程と会場一覧です。詳細につきましては後刻御確認ください。

【(2) 第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会「福井国体」に係る調査について】

次に(2)の第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会「福井国体」に係る調査についてでございます。別に配付させていただいております調査票をご覧ください。第38回九州ブロック大会・第73回国民体育大会「福井国体」の会期を記載しておりますので、先程ご覧いただきました競技日程等を参考に、対応が可能な日に○印をつけていただきまして、恐れ入りますが事務局まで御提出くださいますようお願いいたします。

【(3) 第71回大分県民体育大会の日程・会場について】

次に、(3)第71回大分県民体育大会の日程・会場地についてですが、6ページをご覧ください。6月5日に開催されます第1回実行委員会で正式に決定される予定ですが、本年度は県南ブロックを中心に9月8日・9日を主日程として開催されることとなっておりますので、御確認ください。

【(4) 第66回大分県高等学校総合体育大会の日程・会場について】

次に、(4)第66回大分県高等学校総合体育大会の日程・会場地についてですが、7ページをご覧ください。本日は県高体連の蓑田会長が出席されておりますので、蓑田会長から御説明をお願いいたします。

蓑田高体連会長

こんにちは。高体連会長の蓑田でございます。今、事務局からご説明がありました通り、資料7ページにおきまして、ご説明をさせていただきます。

第66回の大分県高等学校総合体育大会でございますが、会場の関係もありまして、先行開催7競技程でございますけれども、もう始まっている競技もございます。

主日程としましては、5月の2日3日4日の3日間を主日程として、12市3町で開催をさせていただきたいと思っております。

35競技の開催となっております。なお、6月1日金曜日でございますが、10時05分から大分市営陸上競技場におきまして、高校総体の総合開会式を開催させていただきたいと思っております。

体育協会の役員の皆様・議員の皆様にはご案内を差し上げると思っておりますので、もし、ご都合が付けば、高校生が躍動する姿を是非拝見していただければと思っております。

また、会長の知事におかれましては、是非ご出席いただきまして、激励を頂ければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

ありがとうございました。

【その他(5) 第56回大分県中学校総合体育大会の日程・会場について】

次に、(5)第56回大分県中学校総合体育大会の日程・会場地についてですが、8ページをご覧ください。5月22日に開催されます第2回評議員会で正式に決定される予定ですが、本年度の中学県体は7月25日から27日を主日程としてご覧の競技会場にて開催される予定となっております。また、表の一

番上に記載の総合開式については、近年の異常気象を踏まえた選手の体調管理面や駐車場として借用している大分川河川敷の使用制限を考慮し、本年度から、天候の晴雨を問わず県立総合体育館での実施となっております。

【（６）加盟団体主催イベントに係る賠償責任保険について】

次に、（６）加盟団体主催イベントに係る賠償責任保険について説明いたします。９ページをお開きください。

この資料は、本年度の賠償責任保険について加入希望を集約したものです。この保険は、主催者に賠償責任が発生した場合の備えとなるものです。なおこの保険はあくまでの任意ですので、決して強制するものではありません。平成３０度の状況につきましてここで御報告いたします。詳細につきましては後刻御確認ください。

【（７）平成３０年度賛助会員募集について】

最後に（７）平成３０年度賛助会員についてのご願ひでございます。賛助会員制度につきましては、平成２２年度から取り組みをはじめ、これまで本会の運営に有効に活用させていただいているところです。これまでの御協力にこの場を借りまして、厚くお礼申し上げます。

本会の財務状況につきましては、議案４で御説明しましたとおりこれまでの赤字から何とか黒字となりましたが、厳しい状況に変わりはありません。賛助会費につきましては、自主財源の大きな柱でございますので、本年度も皆様方の御理解を得まして、賛助会員の拡充を図って参りたいと考えております。

本日は小封筒入りの趣意書等を関係の皆様へ配付させていただいております。何卒、趣旨を御理解の上、本年度も御協力くださいますよう切にお願い申し上げますとともに、周囲の方々にも賛助会員の輪を拡げてくださいますよう併せてお願い申し上げます。

以上でその他の説明を終わります。

《質疑応答無し》

８ 閉会のことば 伊藤総務部長が閉会のことばを述べた。

平成30年5月14日

会 長 広 瀬 勝 貞

副会長 工 藤 利 明

副会長 麻 生 益 直

副会長 上 野 浩 光

監 事 鍵 矢 栄 典

監 事 工 藤 哲 郎

監 事 矢 部 正 秋